

On Happiness; Contemporary Japanese Photography

日本の新進作家 vol.2

幸福論

小松敏宏 / 蛭川実花 / 三田村光土里

Toshihiro Komatsu, Mika Ninagawa, Midori Mitamura

2003年9月9日(火) - 10月5日(日) 10:00 - 18:00

月曜休館。ただし、9月15日(祝)は開館、16日(火)休館。木・金曜日は20:00まで。入場は閉館の30分前まで。

東京都写真美術館 2F 展示室 (恵比寿ガーデンプレイス内)

主催：東京都 / 東京都写真美術館 助成：芸術文化振興基金

協力：富士写真フィルム / 富士ゼロックス / プロラボクリエイティブ東京 / シグマラボ / カシマ / サッポロビール / エディシオン・トレヴィル

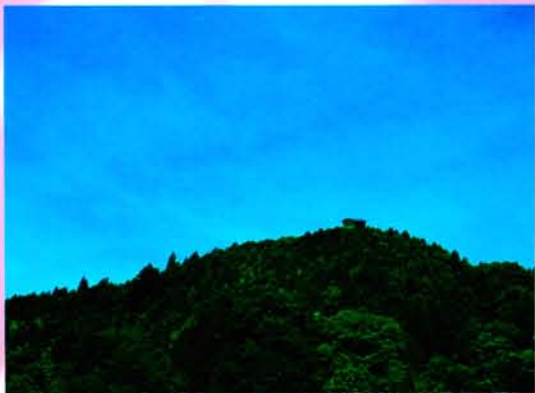
観覧料：一般500(400)円 学生400(320)円 65歳以上・中高生250(200)円

()内は20名以上の団体および三越カード・アトレカード会員割引料金

第3水曜日および9月15日(敬老の日)は65歳以上無料 10月1日(都民の日)は無料 東京都写真美術館友の会会員は無料

小学生以下および障害をお持ちの方とその介護者1名は無料

三田村光土里「グリーン・オン・ザ・マウンテン」2003年



蛭川実花「アシッド・ブルーム」2003年



小松敏宏「ジャパニーズ・ハウス 小松家」2003年



東京都写真美術館では、「写真表現の可能性に挑戦する創造的精神を支援し、将来性のある作家を発掘し、新しい創造活動の展開の場とする」ことを美術館の基本的使命のひとつとして掲げ、積極的に現代写真の展覧会を開催してきました。
昨年から新たにスタートした「日本の新進作家」展は、国内の新進気鋭の作家によるグループ展です。
第2回目となる本展は、「幸福」と、それにまつわる物語を共通テーマに、小松敏宏・蛭川実花・三田村光土里の3作家の内的世界を探ろうとするものです。
国内外を問わず、アート、ファッション、パフォーマンスとさまざまなフィールドでキャリアを重ねてきた作家たちは、それぞれの解釈による「幸福論」を多様なスタイルの映像表現で提示しました。
その豊かで斬新な想像力は、個別の哲学的な空間を生み出し、独自の色彩を放ち、さらにはわたしたちの五感に訴えかけてきます。

「しあわせのかたち」
幸福について考えるとき、人は少し立ち止まって、過去と未来を想います。なぜでしょう。わたしたちは、それぞれの生涯に応じた量の記憶のストックを抱えて、日々それを消去し、また、更新しながら生きています。
そのことばの象徴するものは、曖昧ながらもあたたく、やさしく、時に甘やかなイメージを与える一方で、すでに失われてしまった幾つかのものを懐かしく思い出させるからではないでしょうか。
ドイツの抒情詩人ヘッセの遺したことは、時代や年代を超えて、わたしたちにひとつのヒントを与えてくれます。
「語の中には、話す人のすべてにとって、好きな語、なじまない語、ひいきにする語、避ける語がある。千へん使っても使い損ずるおそれのない日常語もあれば、どんなに愛していても、慎重に大切にしてい、荘重なものに似つかわしく、まれに特にいりぬいて初めて口にしたたり書いたりする、別な荘重な語もある。私にとっては幸福という言葉は、そういうものの一つである」
「しあわせのかたち」もまた、そういうものにはあがりません。
Ever since its opening, The Tokyo Metropolitan Museum of Photography has considered one of its primary roles to be: to support the creative spirit that challenges the possibilities of photographic expression, and to provide a place in which to develop new creative activities. Since last year we have decided to take this one step further and hold regular exhibitions featuring the work of up-and-coming Japanese photographers. Please enjoy our experimental exhibition "On Happiness: Contemporary Japanese Photography vol.2" through a newly taste of Photography, a multiple presentation by Toshihiro Komatsu, Mika Ninagawa, Midori Mitamura.

小松敏宏 Toshihiro Komatsu
1966年 静岡県生まれ。1993年東京芸術大学大学院美術研究科修了後、アムステルダムライクシアカデミーでフェローアーティストとして制作を続ける。その後渡米し、マサチューセッツ工科大学大学院建築学部にて理学士号取得。2002年帰国し、京都精華大学芸術学部造形学科で教鞭を執る。

蛭川実花 Mika Ninagawa
1972年 東京生まれ。多摩美術大学在学中より様々な公募展に応募し、数多くの賞を受賞。2001年度木村伊兵衛賞写真賞受賞。展覧会や写真集での作品発表をはじめ、ファッション誌やCDジャケット等の広告を中心に活動中。http://ninamika.com

三田村光土里 Midori Mitamura
1964年 愛知県生まれ。1994年現代写真研究所基礎科修了。「記録と記憶」をテーマに、私的な写真や音楽、インテリア、テキスタイル等のモチーフを組み合わせたユニークなインスタレーションを数多く発表。その独特な世界観が評価され、国内外で個展、グループ展多数。

出品作家による関連ワークショップのお知らせ 9月13日(土)・14日(日)・15日(祝)
詳細はhttp://www.syabi.com/workshop.html
〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3
tel. 03-3280-0099
http://www.syabi.com

